

兵庫県保険医協会北播支部「医療安全管理研修会」のご案内



日常での医療安全管理

～『気づき』レベルのアップのために～

2007年の医療法改定により、すべての医療機関に医療安全管理が義務化され、職員の研修を年2回程度実施することが求められています。

今回は、外来の現場における医療安全管理対策に関する日常の対策や心得を、市立西脇病院の岸本敦子さんに同病院の取り組みを中心ご講演いただきます。外来で必要な医療安全管理について、ご要望の多い「カイゼン活動」も盛り込みながら、診療所にも対応した中身でお話いただきます。

先生はもちろんスタッフの方（施設関係者の方も歓迎）お誘いあわせの上ご参加ください。

日時 1月25日(土) 14時～15時30分（質疑込み）

会場 小野市うるおい交流館エクラ 中会議室

講師 岸本 敦子 氏（市立西脇病院 地域看護教育研修センター）

参加費 1,000円（受講された方には受講証を発行します）

お問い合わせは TEL 078-393-1809 吉永・平井まで

参加申込書 FAX返信：078-393-1802 ※切り取らずにご返信ください

参加者氏名	職種	参加者氏名	職種

地区（ ） 医療機関名（ ）
 代表者名（ ） 連絡先(TEL: FAX:)

兵庫県保険医協会

北播支部

ニュース

2020年1月5日号 No.177

発行者 兵庫県保険医協会北播支部
 支部長 林 武志

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
 神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/



新年のごあいさつ

北播支部長 林 武志



新年明けましておめでとうございます。先生方におかれましては、ご健勝に新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。平素より北播支部に格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。昨年中は大変お世話になりました。

さて、本年は診療報酬改定の年であります。政府は改定率をマイナス0.46%と決定しましたが、診療報酬は医療機関経営の原資であり、診療報酬が下がれば医療供給体制が縮小しかねず、

ひいては患者さんが受けられる医療の質をも左右してしまいます。政府の打ち出す「地域医療構想推進」「医師の働き方改革」「医師偏在対策」もプラス改定抜きには難しいのではないのでしょうか。

本年も医療をはじめ、政治や経済もなかなか大変な年になりそうですが、目の前の患者さんの健康を回復することに最善をつくし、地域住民の方々が安心して暮らせるように奮闘しようではありませんか。

当支部では、先生方やスタッフの方々を力強くバックアップするための活動を引き続き行っていく所存です。直近では、医療安全管理研修会（4頁参照）や診療報酬改定研究会（下記参照）など、時宜にかなった取り組みを予定しています。ぜひご参加ください。

本年もさらなるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



2020年度 診療報酬改定研究会（医科）

日時 3月26日（木）14時～

会場 コミセンおのコミュニケーションホール（小野市）

講師 林 武志 先生

今からご予約ください！

※歯科診療報酬改定にかかわる会員懇談会を北播支部でも開催予定です。（4月以降を予定）

詳細が決まり次第ご案内いたします。

お問い合わせは、TEL 078-393-1809（吉永・平井まで）

難病医療費助成制度の改善求め請願提出

加東・小野両市の委員会で採択

協会は、国の指定難病医療費助成制度（以下、難病助成制度）の改善を求める請願を県および各市町議会で進めている。北播支部でも加東・小野両市の12月定例議会に請願書・要望書を提出し、両市とも委員会で採択され、本会議でも採択される見込みとなっている。

国の難病助成制度は、2015年1月より、新たに「重症度基準」が導入されたため、難病認定患者であってもこの基準で「軽症」と認定されると医療費助成の対象外とされるように改悪された。

2017年末の経過措置終了により、助成を受けられなくなった不認定患者等は全国で約14.6万人（不認定8.55万人・申請なし6.05万人、経過措置適用者の5人に1人）に上る（2018年10月1日時点）など、多くの難病患者に影響が及んでいる。

すべての疾病は早期発見・早期治療が重要だが、特に難病はいったん重症化すると回復が著しく困難となるうえ、合併症の発症リスクや発がんリスクが高い等の特性をもつ場合もあり、早期の段階から定期的な受診によるフォローを行うことが必須となる。

協会は保団連の提起を受け、「軽症」者を含めたすべての難病患者が費用等の心配なく

早期受診できるよう、各市町に対し、重症度基準の撤廃を求める意見書を国に提出すること等を求める請願への取り組みを開始。北播支部でも加東・小野各市の12月議会にそれぞれ請願書・要望書を提出した。

加東市は、12月3日の総務文教委常任委員会で審議され、全会派一致で採択。24日の本会議にて過半数の賛成で採択となる見込み。

小野市は、12月18日の民生地域常任委員会で審議され、全会派一致で採択。25日の本会議で全会派が賛成すれば意見書提出が実現する。

各議会への請願人・要望人、紹介議員は以下のとおり（敬称略）

【加東市】請願人・桂正剛、曾野瑞弘、田淵光、紹介議員・岸本眞知子（副議長）

【小野市】要望人・西山敬吾

桂正剛先生（加東市）の評議員会での発言要旨

医療現場からの声を粘り強く上げていくことが重要

協会は11月17日、第96回評議員会・臨時決算総会・第42回共済制度委員会を開催。北播支部からの桂正剛先生の発言要旨を紹介する。

北播支部は、加東市12月定例議会に難病医療費助成制度の改善を求める請願書を提出予定だ。疾病は早期発見・早期治療が重要だが、特に難病は、重症化すると回復が著しく困難となるうえ、合併症リスクや発がんリスクが高い場合もある。医療現場からの声を粘り強く上げていくことの重要性を感じる。

組織強化では、先日、林武志支部長と、西山裕康理事長の訪問・働きかけが実り、市立西脇病院が入会した。



桂先生が支部から発言

2市1町の自治体キャラバンに参加

加西市が子どもの均等割全額免除にむけ検討



加東市（10/28）



加西市（11/22）

北播支部は、協会が参加する兵庫県社会保障推進協議会（社保協）の加東市（10/28）、加西市（11/22）、多可町（11/22）の各自治体キャラバンに参加。国保、介護、高齢者医療など社会保障に関する諸課題について各自治体の担当者で交流した。

加西市長の西村和平氏は冒頭の挨拶で「かねてからの懸案事項であった国保税の子どもの均等割の全額免除を来年度から実施できるように現在検討中」「社保協との意見交換は重要、みなさんの日頃の活動に敬意を表する」とした。

加東市と多可町では、厚労省が公表した病院再編リストに加東市民病院と多可赤十字病院が上げられたことについて「これ以上の病床削減はできない」とし、両病院の地域での役割について確認した。



世話人会だより

第353回 12月18日（水）小野市・加東市医師会館 参加10人

◆北播支部の会員数と組織率

12/18現在 医科177人（91%）、歯科84人（60%）

◆情勢と医療運動対策など

「2020年診療報酬改定」について議論した。

◆当面の支部活動

医療安全管理研修会「日常での医療安全管理～『気づき』レベルのアップのために～」

日時 1月25日（土）14時～ 於・小野市うるおい交流館エクラ 中会議室

講師 市立西脇病院 地域看護教育研修センター 岸本 敦子氏

参加費 1,000円（受講された方には受講証を発行します）

◆次回世話人会

2020年1月15日（水）19時30分～ 小野市・加東市医師会館

お問い合わせはTEL 078-393-1809 吉永・平井 まで